

令和6年度 国土交通大臣賞

募集締切
令和6年
5月31日(金)

<循環のみち下水道賞>

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、国土交通大臣表彰を行っております。

日ごろの取組みを広く発信できるこの機会に、ぜひご応募ください。

募集部門

イノベーション部門

現場における創意工夫や
新技術の活用等の取組

防災・減災部門

災害対策における
ソフト・ハード面の取組

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、
事業運営、人材育成に貢献する取組

広報・教育部門

効果的な広報活動や
環境・防災教育等の取組

下水道の魅力
を伝える
絶好の
チャンス

下水道 × ?

= 循環のみち

イノベーション

防災・減災

広報・教育

アセットマネジメント

循環のみち下水道賞応募について

○応募団体

以下の団体や事業者の方が対象です。

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている
各種NPO、ボランティア団体、市民団体

○応募資料(提出いただくもの)

- ① 応募調書
- ② 審査様式
- ③ 審査様式補足資料(審査様式の内容を補足する資料)
- ④ その他(パンフレット等応募内容を説明する資料。提出は任意です。)

※ 応募資料については、募集開始以降、以下のURLに掲載します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000568.html

○提出方法

- ・地方公共団体の方：各地方整備局等へご提出ください。
(各地方整備局等でとりまとめた後、国土交通本省に提出されます。)
- ・民間団体等の方：事務局へ直接ご提出ください。

○応募・選定スケジュール(予定)

令和6年4月19日
募集開始

令和6年5月31日
募集締め切り

令和6年6月～8月中
選定委員会開催

令和6年9月10日
表彰式



斉藤大臣挨拶



集合写真

令和5年度表彰式

事務局 (お問い合わせ先)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課(上下水道審議官グループ)企画調整係長 古屋、南

代表：03-5253-8111(内線34-136) 直通：03-5253-8427 E-Mail：minami-m2aa※mlit.go.jp

※を@に変えて送信してください

「循環のみち下水道賞」の目的

循環のみち下水道賞は、下水道の使命を果たし、社会に貢献した好事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等が同様の取組を行うことで、健全な水循環及び資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」の実現を全国的に図ることを目的とする。

「循環のみち下水道賞」の部門構成について

グランプリ

※令和5年度より各部門賞の中からグランプリを選定

イノベーション部門

現場における創意工夫や新技術の活用等の取組

下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組。

防災・減災部門

災害対策におけるソフト・ハード面の取組

大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組。

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組

管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組。

広報・教育部門

効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組

下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組。

グランプリ

介護予防とコミュニティ創出の鍵は?? マンホールにあり!!

堺市

受賞事例の概要

連携第1弾！堺まちなかマンホールウォーク

6月中旬から1カ月間実施

点在するデザインマンホール蓋を巡る3種類のウォーキングコース。279人が参加（平均年齢71.7歳、最高齢89歳）

PRポイント

① **既存資産**（デザインマンホール蓋）の活用

② 上下水道局の重要取組のひとつ
「**自助・共助**」の啓発も同時にPR



PRキャラクター
マモルダー



熱中症予防に備蓄水の
配布と啓発

備蓄水や携帯トイレの
「上下水道防災セット」
を抽選で贈呈

家庭内の飲料水備蓄80%が目標です

連携第2弾！！健活アプリ「アスマイル」のウォークラリー

10月から
継続中

スマートフォンのGPS 機能を活用した、上下水道ゆかりの地を巡るコース。中継地点を経由しゴールすればポイント獲得！

PRポイント

① コースは**上下水道局の資産・市の資産をフル活用**
組織の垣根を超え、商店街や文化施設を組み込むコース
で**都市魅力を発信**

② **アプリ機能をフル活用**し、歩きたくなる仕掛け



歩数等の日々の健康
情報をアプリで管理

ポイントをためて
抽選で
ゲット
コンビニ
コーヒー
Pay♪

機能や特典に係る
市の負担なし

参加者もまち
Win-Win!

マスコットキャラクター
すいちゃん

PRポイント!

健康増進に繋がる“歩く”と上下水道事業の“資産”をフルに活用したウォークラリーを“ICT等の新技術”も使って企画・実践し、市内でも「効率的・効果的な事業実施」「商店街や文化施設を巻き込んだ都市魅力の発信」「職員の負担がない」「ゼロ予算」等と市内でも評価されています。

ICT技術を使えば、ここが秀逸！

①スマホがもつ機能を使うため、ラリー地点の受付や説明に**人手が不要**



地点の説明と見どころを掲載

②スマホ操作でイベントが完結するため、その日の気分で参加できる**手軽さが売り**



③参加者の**分析&効果検証**が容易



- ・市内外の参加人数
- ・年齢層
- ・歩く習慣化etc.

部署横断で取り組むきっかけと、その成果

副市長をリーダーとする、高齢者の健康増進施策を考えるワーキンググループで、上下水道局が企画提案



企画をととして、健康福祉局と上下水道局の連携がスタート

①都市魅力の発信、歩く機会の創出、運動の習慣化に寄与



- ・毎月250人程度参加
- ・市内参加者の7割が60歳以上 (R4年度末時点)

②健康福祉局、そして他部局との連携による**相乗効果**



取組の効果

毎月市内外から参加されており、コース各所から「人を呼び込む機会を創出してきてありがたい」と感謝の声をいただいています。また、参加者が好きなペースで歩けるため、密を避けられる他、友人等を誘い合って参加するなど社会交流の活性化や運動の習慣化にも寄与しています。さらに、取組をととして、企画の面白さだけにとらわれずに「市施策 (KPI) に紐づいた企画か?」等、考える習慣や、課員同士でアイデアを出し合う風土が醸成されました。

Key Person



堺市健康福祉局 係長 多賀井 眞紀

介護予防や健康に無関心だった方に事業に参加してもらう工夫が必要だと考えていたところ、この取組を行うことになりました。他局がもつ資産を活用することで、様々なチャンネルから健康増進へアプローチすることができました。

健康福祉局との連携により、本取組は健康志向の方へ上下水道事業に興味や関心をもってもらえるきっかけになりました。また、企画段階から、上下水道らしさと堺市らしさを失わないようにしたことで、局内の理解だけでなく他局・商店街・文化施設といった組織の垣根を超えて、継続的・長期的な企画が実現できました。



堺市上下水道局 主査 竹田 由実